

「数学 I」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校  
講師 中野俊亮

- 1.日時 平成 25 年 2 月 8 日 (金) 第 3 限 2.場所 1 年 6 組教室 3.学年 1 年 6 組 (数学 I)
- 4.生徒観 数学に苦手意識を持っている生徒が多い。少しずつではあるが、興味を示してきている。しかし、授業を休む生徒や小中学校でのつまずきの大きい生徒も少なくないので、どこが欠けてもすぐに追いつける授業の工夫、学び直しの場を多く設定している。
- 5.単元 三角形の面積
- 6.単元目標 2 辺とそのはさむ角がわかっているとき、三角形の面積を求められることが理解できる。
- 7.本時の目標 既習の学習を利用し、三角形の面積を求める式を筋道立てて導くことができる。
- 8.本時の創意工夫 (5 観点について①～⑤)
  - ① 本日の学習内容を板書する。
  - ② チョークの色を覚える色と説明色に固定する。
  - ③ 一人ひとりが主体となる学習を行う。
  - ④ 繰り返すことで身につけさせる。
  - ⑤ 授業始めと終わりは必ず起立と礼を行う。
- 9.本時の展開

	学習内容	学習活動 (生徒の活動)	・指導の留意点*支援 (教師の活動)	学習形態	創意工夫 ①～⑤
導入	・前回までの復習	・三角比のまとめの表を説明。	・三角比のまとめの表を黒板に板書し、ノートを見るよう指示する。 ・三角比は(斜辺)(高さ)(底辺)が分かれば求められることを確認する。	個人	③④⑤
展開	三角形の面積について思い出してみよう。			個人	①③
	・三角形の面積について	・三角形の面積について知っていることをノートに書く。 ・発表する。	・机間巡視を行う。 * 公式を導けない生徒には、四角形の面積を考えさせる。		
	高さを、三角比を用いて表してみよう。			個人	②③④
	・高さと三角比の関係	・高さを、三角比を用いてノートに表す。 ・発表する	・直角三角形を板書する。 * 高さは黄色のチョークで表す。 ・机間巡視を行う。 * 高さを、導けない生徒には、三角比のまとめの表を確認させる。		
三角形の面積の公式を、 $\sin \theta$ を用いて表してみよう。			集団	②③	
	・三角形の面積の公式(2)	・三角形の面積の公式を、 $\sin \theta$ を用いて表す。	・公式を板書する。 * 2 辺とそのはさむ角及び公式は黄色のチョークで表す。	集団	③④
	・公式の利用	・板書しながら、公式を利用して面積を求める。 (例 3, 問 6)	・板書しながら、生徒に発表させる。 ・机間巡視を行う。	個人	③④
まとめ	・本時の振り返り		・2 辺とそのはさむ角がわかっているとき、三角形の面積を求められることを確認する。	集団	④⑤